



志楽小学校だより

舞鶴市立志楽小学校
平成29年度学校だより
第11号
平成30年1月9日発行



夢を志に

～ 一年の計は元旦にあり ～



寒さは厳しくなりましたが、お正月は穏やかに迎えることができました。地域の皆様、保護者の皆様におかれましては、おそろいで、輝かしい初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、本校教育の充実 発展に格別のお力添えをいただきましたことに、心よりお礼申し上げます。また、子どもたちが、無事に冬休みを過ごすことができましたことにも感謝申し上げます。ありがとうございました。本年も何卒よろしく願いいたします。

本日、冬休みを楽しく有意義に過ごした子どもたちが元気に登校してきました。「おめでとう」「おはよう」の元気なあいさつから、新年の意気込みを感じ、嬉しかったです。何よりも私からの宿題「命を大切にする」ができたことが嬉しいです。

本学期は、最も短い学期です。「学年の締めくくり」と「新たな学年への準備」の大切な日々です。全校皆仲良く、健康や安全に気を付けて、心と体を鍛え、学習のまとめをしっかりとできるようにしたいです。今のやる気を大切に、基礎学力を徹底して身に付けさせるとともに、主体性を伸ばし、学年に応じたコミュニケーション力や人とつながる力、自立と自律の力をさらに高めたいです。「一年の計は元旦にあり」と言われるように、明確な「なりたい自分」をこの時期に思い描かせるとともに、学校経営方針「楽しく学び、夢を志に高める学校～人と関わり、よりよい生き方を求め、役割を果たす児童の育成～」に立ち返り、私たち教職員も「チーム志楽」で一丸となって、児童一人一人のよさが輝き、自己有用感や自尊感情を高めることができますよう具体的な方策をもって努力して参ります。

今年も引き続き、皆様のご支援をお願い申し上げ、年始のあいさつとさせていただきます。

校長 村川 広美
教職員 一同

日々新たに・・・

「なりたい自分」を思い描くことの大切さ

新年、新学期・・・新しいということとは仕切り直しができる、やる気がアップするものです。子どもたちには、始業式で「じっくり自分を見つめ、なりたい自分を思い描き、そのためにどうしたらよいか考えることが大切です。」と語りました。まずは、なりたい自分を思い描くこと・・・それぞれの夢は、自分のよさが発揮でき、さらにそれが、人の役に立つこと、喜んでもらえることであればなお素晴らしいと思います。多くの人に喜んでもらえることでも、となりの友達に喜んでもらえることでもよい。それぞれの子どもが思い描く夢。その夢を志に高めていくのは、周りにいる大人と教え育てる私たち教師の役目であると再確認して、新年をスタートしたいと思います。

地に足がついた学びを

昨年度に続いて、十二月二十六日、「社会を明るくする運動」京都府作文コンクールの表彰式に出席しました。本校六年生の梅田陽菜さんが、府内小学生の部六千五百七十二点の中から、十作品の中のKBS京都賞を受賞されたからです。総合的な学習の時間に福祉体験をしたことから、自分の生き方に活かしたいと考えていることを書きました。二学期末の保護者アンケートにも、本校児童のよさを「上級生が優しい」や「上級生が下級生の面倒をよく見てくれる」と書いてくださった保護者の方が数名あり、嬉しく思いました。相手意識をもつて日々過ごしている本校児童のよさ。これは、温かい地域で見守られて生活することも大きいです。今後も地に足がついた学びの力「よりよい生活につながる力、そのような学びができる学校にしたい」と考えています。

自分に打ち勝つ強さや柔軟さを

お正月番組で、多くのアスリートが語っていましたが、「幸せな人生になるかどうかは、結局自分にかかっている・・・」「困難をいかに乗り越えるか。ポジティブに捉えて、逆境を肥やしにできるか・・・その子らしさを大切にしながら、折に触れて、そういった生き方を聞かせることも大切にしたいと思えました。」

平成三十年度から小中一貫教育に

四月から白糸中学校区においても実施する小中一貫教育について、地域の皆様には、子育て支援協議会の委員総会で、保護者の皆様には、「六年生を送る会」の機会に、舞鶴市より、説明をしていただく予定で計画しています。

